

資料・情報の調べ方

大串夏身『挑戦する図書館』を参考に資料・情報の調べ方の流れを紹介します。

1 調べるテーマ・事柄について確認する ⇒ 辞典・事典類

コンパクトな辞典 ⇒ 百科事典 ⇒ 専門分野の事典・ハンドブック

※ 調べるテーマ・事柄が自分の理解と違いがないか確認する。

※ 同じことばでも分野によって使われ方や意味内容が違ふことがある。

※ データベース検索 「Japan Knowledge Lib」

百科事典、言語辞典、歴史辞典、用語辞典、人名事典、科学辞典、叢書、雑誌等50種以上のデータベースが利用できる。

2 ことばの意味を正確に理解する：新しいことば

辞典・事典にない ⇒ 新語辞典・インターネット

※ 新語辞典 『現代用語の基礎知識』（自由国民社 2017）[R031]

※ インターネット検索 「Google」 「Yahoo! Japan」

3 新しいテーマ・事柄・状況 ⇒ 年鑑

『読売年鑑』（読売新聞社 2017） [R059]

『世界年鑑』（共同通信社 2017） [R059]

「白書」 ⇒ パスファインダー「白書について」

4 図版が豊富なシリーズでチェック

『「知」のビジュアル百科』全50冊（あすなろ書房 2004-2008） [児童・一般/仲町・喜平]

『ビジュアル博物館』全89巻（同朋社 1990-2002） [児童書/一部未所蔵]

5 図書を調べる

図書情報データベース ⇒ 新刊書 ⇒ 電子書籍

① 図書情報データベース

「国立国会図書館サーチ」 (<http://www.ndl.go.jp/>)

② 新刊書（取次会社など）

「e-hon」（トーハン） (<https://www.e-hon.ne.jp/bec/EB/Top>)

「Honya Club」（日本出版販売） (<http://www.honyaclub.com/shop/guide/abouthc.aspx>)

③ 古書

「日本の古本屋」（東京都古書籍商業協同組合） (<https://www.kosho.or.jp/>)

④ 政府刊行物

「政府刊行物」（全国官報販売協同組合） (<http://www.gov-book.or.jp/book/new.php>)

6 雑誌論文を調べる ⇒ パスファインダー「新聞・雑誌記事を調べるには」

「国立国会図書館雑誌記事索引」 (<http://www.ndl.go.jp/>)

「Cinii Articles」（国立情報学研究所） (<http://ci.nii.ac.jp/ja>)

「Google Scholar」 (<http://scholar.google.co.jp/schhp?hl=ja>)

7 新聞記事・ニュースを調べる ⇒ パスファインダー「新聞・雑誌記事を調べるには」

8 インターネット情報源を調べる ⇒ 『調べるって楽しい!』（青弓社 2013） [007.58]